
◆「平成23年度土砂災害に対する全国統一防災訓練」の実施報告について

○去った6月12日(日)、土砂災害に対する警戒避難体制の整備を図ることを目的に、地域住民、市町村、都道府県、気象台、国、防災関係機関による第6回「土砂災害・全国統一防災訓練」が実施され、沖縄県においても、大宜味村、名護市、南城市、宮古島市において訓練を実施しました。

○訓練では、FAX や県と市町村を結ぶ土砂災害情報提供システムによる、対策本部の設置及び土砂災害警戒情報の伝達、地域住民からの災害前兆現象の伝達、また住民への避難勧告、避難指示の発令、災害発生に伴う被害状況等の報告など一連の情報伝達訓練が行われました。

○また、避難の際に支援が必要となる災害時要援護者の避難支援の訓練も実施されました。

今後も、重点的なハード整備を推し進めるとともに、避難訓練による土砂災害防止意識の普及に努める等、ハード、ソフトを合わせた土砂災害対策を推進していきます。

■平成23年度土砂災害に対する全国統一防災訓練 実施状況

写真提供： 沖縄県海岸防災課

